

釧路管内の教育環境におけるICTを活用した 持続可能な教職員の校務モデル構築の実証実験



実証事業成果報告書

- | | |
|--------|---|
| □実証期間 | 平成31年4月～令和2年3月 |
| □実証実験校 | 釧路市立鳥取西小学校 釧路市立鳥取西中学
弟子屈町立川湯小学校 弟子屈町立川湯中学校 |
| □協力 | 釧路市教育委員会 弟子屈町教育委員会 |
| □実施主体 | 株式会社サイボウズ
一般社団法人学校地域協働センターラポールくしろ |
| □協力企業 | 株式会社ジョイゾー |

実証事業成果報告会

釧路管内の教育環境におけるICTを活用した持続可能な教職員の校務モデル構築の実証実験

サイボウズ株式会社とラポールくしろが連携協定を締結し、1年間実証を実施してきた成果を報告し、今後の学校現場に必要な連携ツールを紹介します

2020.2.25 Tue 13:00～16:00

釧路市中央図書館
7階多目的ホール

12:30～ 受付開始

13:00～ 1年間の実証を通して見えてきた成果と課題・・・ラポールくしろ、実証校

13:40～ パネルディスカッション「学校でこんな情報共有できたらいいな」

【パネラー】実証校の先生、ラポールくしろ、サイボウズ（佐藤萌音）

【モデレーター】中村龍太（サイボウズ）

15:20～ 次年度実証に向けた提案及び実証事業校の募集について

学校内の業務改善のほか、 学校と家庭・地域がつながります

例1

学校内の業務改善。
ペーパーレス、情報共有
今日の予定や連絡事項な
どを一目で。

例2

家庭環境調査や学校評価
を保護者はウェブで入力
データはkintoneに自動
集約、グラフ化も簡単に

例3

職場体験学習のアポ取り
は不要。kintone上で受け
入れ企業一覧から希望先
を選択、ラポールが集約
しマッチング！

2020年度 実証事業校募集！

目標は、釧路管内全小中学校がkintoneでつながること。どの学校に異動しても同じシステムでの業務を目指します。実証期間中は無償提供します。実証実験終了後は、少ない経費負担での運用を目指します。

一般社団法人学校地域協働センターラポールくしろ

釧路市末広町11丁目1-10クローバービル2階

〈電話〉070-1592-8049

<https://www.rapport.kushiro.jp>

【お問い合わせ・お申込み】

info@rapport.kushiro.jp

主催者紹介	5
イントロダクション	7
1年間の実証を通して見えてきた成果と課題	8
パネルディスカッション 「学校でこんな共有できたらいいな」	21
次年度実証に向けた提案および実証事業校の募集について	43
総論	50

一般社団法人学校地域協働センターラポールくしろ

何もかもが目まぐるしく変わる現代で、今を生きる子どもたちが「自らの力で未来を切り開く」ための力を養うためにはどうすれば良いのか。

そんな思いから、学校だけでなく地域、地元企業の協働によって「子どもたちの生きる力」を育てる環境を整えようと生まれたのが、一般社団法人学校地域協働センターラポールくしろです。

主に釧路管内を拠点に活動する、仕事も年齢も異なる7名が集まり、2018年9月に設立しました。

「キャリア教育の推進」「教育ICTの推進」「コーディネーターの育成」の3つをコンセプトに、学校と地域、企業のニーズのマッチングやコーディネートなどを行っています。

今回の協定は「チームワークあふれる社会を創る」という株式会社サイボウズの思いと、「学校・地域・企業の協働」をコンセプトに活動する当法人の思いがマッチングしたために実現したものです。kintoneを活用することで、釧路管内における「チームワークあふれる地域創生」を目指してまいります。

釧路管内および釧路市について

釧路管内とは北海道の東部（道東地域）に広がる、主に8つの地域（釧路市・釧路町・厚岸町・浜中町・標茶町・弟子屈町・鶴居村・白糠町）を指す言葉です。酪農・林業・漁業などの第一次産業がさかんで、近年は国内のみならず海外からも注目される、自然豊かな観光スポットとしても知られるようになりました。

しかし、近年は管内一帯で人口減少および少子高齢化による経済の縮小や、若い世代への負担増などが大きな課題となっているほか、基幹産業である漁業の落ち込みも地域に大きな打撃を与えています。

教育面では、全国学力・学習状況調査における平均正答率が、特に中学生で全国を下回っているほか、勉強時間の減少も課題の一つとなっています。

主な活動内容

- ・ 2019総務省「地域ICTクラブ」地域実証事業者に選定
「くしろI.Cityクラブ」を開催し、地域に根ざしたメンターの育成とともに、
小・中学生を対象としたプログラミング講座を実施
- ・ 2019プログラミング教育指導教員養成塾in釧路
NPO法人みんなのコードとの共催
- ・ Rapportフォーラム2019
- ・ ラポールCafé
教職員・一般の方を対象としたラポールくしろの活動報告および交流会



代表理事
キャリア教育コーディネーター
釧路市立中学校長
幸村 仁



監事
釧路ITクラスター推進協会
中島 秀幸



理事
北海道教育大学
附属釧路小学校教諭
登藤 珠実



理事
株式会社ジョイゾー
四宮 琴絵



理事
まちづくりCDA
(キャリアコンサルタント)
相座 聖美



理事
観光クリエイター
原田 香苗



理事
釧路市立中学校事務
麓 勝之

本実証実験について

実証実験に至る背景：学校現場における業務増、教職員の働き方改革が課題に

学習指導、生徒指導、特別支援教育など、近年はその個別対応が求められており、また2020年には「英語教育」「プログラミング教育」が必修化となるなど、現場の教職員における業務が増えているのが現実です。

さらには2019年4月から「働き方改革関連法案」が順次施行され始めるなど、教育現場は業務改善なしでは進めない局面まで来ています。

そこでラポールくしろでは、キャリア教育としての学校と地域を繋ぐコーディネート業務、さらにはプログラミング教育の教員研修など、課題解決に向けて学校と地域で協働する活動を進めてきました。

その中で、教職員における「取り組みたくても忙しくて取りかかれない」といった業務過多な状況が、今後も恒常的な課題になると考えています。そこで抜本的な解決に向け、ICTを活用した業務効率化の提案の検討を始めました。

実証実験の概要：教職員を対象としたkintoneによる校務支援ツール導入

数年ごとに異動する教員においては、統一した「校務支援ツール」が域内の各校に採用されることで、異動後の学校においてもすぐに校務支援ツールを使うことができ、業務におけるストレスが減る、といったメリットが考えられます。そのプラットフォームとして目をつけたのがkintoneで、統一された操作性の中に、各校独自のアプリなど自由に作成でき、より業務にあった形で運用できるというのが学校現場にマッチすると考えました。

そこで、生徒数や教育環境などが異なる管内4校（釧路市立鳥取西中学校・釧路市立鳥取西小学校・弟子屈町立川湯中学校・弟子屈町立川湯小学校）にドメインを発行し、4月より各校にアカウントを配布いたしました。

kintoneには、あらかじめ月別行事予定・お知らせ・ファイル管理の3つのアプリを用意。アカウント配布後は、教員が主体的にアプリの追加やポータルレイアウト変更などを行う形で進めました。

実施期間

2019年4月 — 2020年3月

1年間の実証を通して見えてきた成果と課題



13:00～ ・挨拶（幸村）
・実証実験の概要（四宮）

一斉休校で改めて感じた重要性 実証校の結果を次年度以降につなげる

<構成>

1. 挨拶（一般社団法人学校地域協働センターラポールくしろ）
2. 今年度の取り組み報告<概要>
3. 各実証校の活用事例発表
（弟子屈町立川湯小学校・釧路市立鳥取西中学校・釧路市立鳥取西小学校）

□概要

- ・ 学校、教育委員会、保護者、子ども、地域企業が一体となった、釧路管内のチームワークあふれる地域創生を目指し、「教職員の業務改善」を目的に実施。
- ・ 3つのアプリを用意し、各実証校にて自由な形で運用。
- ・ 教員の一日の流れや働き方に合わせた導入内容に。

今年度の経験をブラッシュアップして さらなる高みへ



今回の実証実験は、今年度4月に協定を締結した株式会社サイボウズの「kintone」を活用し、釧路管内の教職員の働き方環境改善を目指して行ったものです。

サイボウズでは「チームワークあふれる社会を創る」ことを理念に掲げており、ラポールくしろも「学校と地域との協働」というコンセプトで活動を行うなかで、そこがマッチングして今回の協定締結に至りました。

今年1年間は「教職員の業務改善」を中心に行いましたが、今後は学校、教育委員会、保護者、子供、地域企業が一体となった、釧路管内のチームワークあふれる地域創生を目指してさまざまな取り組みを行っていきます。



一斉休校で改めて実感した 「クラウドによる地域のつながりの必要性」

現在は新型コロナウイルスの影響により、全国すべての公立小・中・高等学校で一斉休校が行われています。

その間にも、各家庭に連絡しなければならないことや、連携すべきことが山積している状況です。こうした中、学校によっては未だに電話の連絡網だけで運営しているところも少なくありません。教育機関に携わるものとして、こんな状態で本当に良いのかと、疑問に思うこともあります。

そういった意味では、今回の事態を通して、クラウドを使った何かが各学校や教育委員会、保護者、地域と繋がっていれば、問題なく連携できるのではないかと改めて感じているというのが私の思いです。



これまでの活動の様子

さらに、家庭に対する子どもたちの体調管理の報告や、クラウドを使った学校機関からの情報発信も可能になるのではと感じています。

また現在、各データの保存方法やその運用方法については、各学校に一任されており、異動の際にはそれらを覚え、慣れることから始めなければなりません。

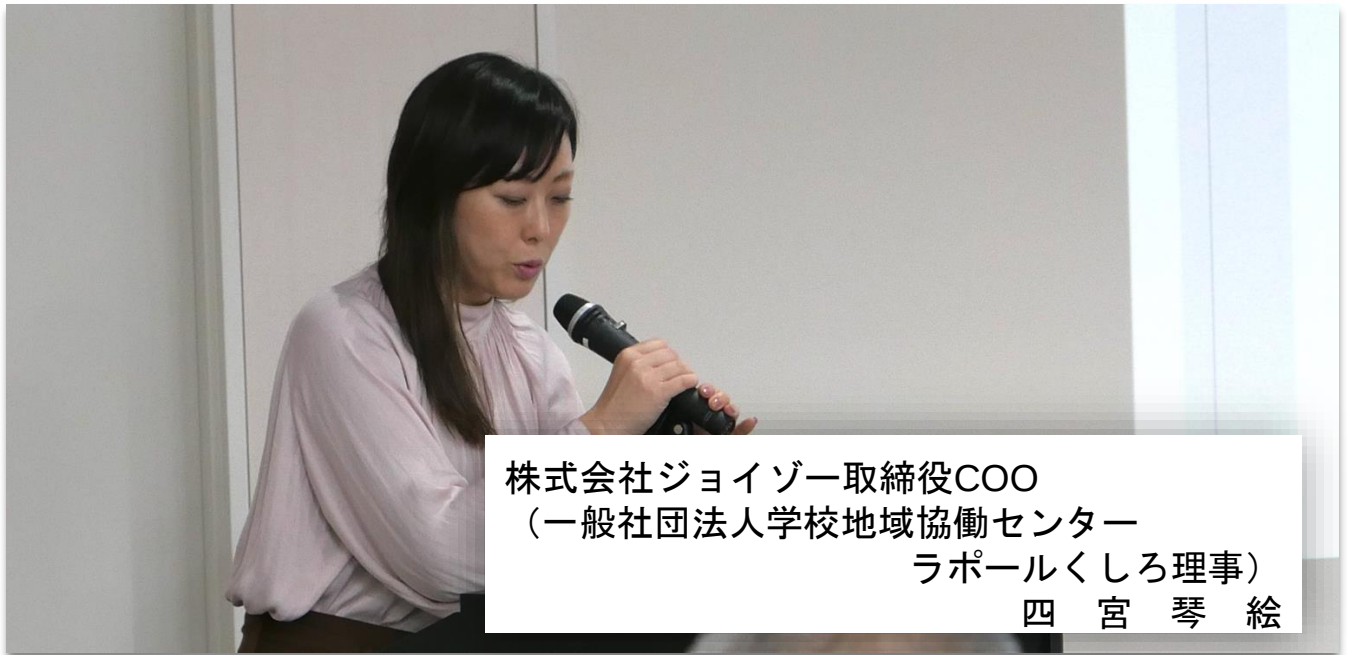
しかし「kintone」という一つのシステムを管内すべての学校に導入できれば、異動で新しい学校に配属された際にもスムーズに業務を行うことができるでしょう。

本日はkintoneを導入いただいた学校の先生にご登壇いただき、現場での使用感や課題、ブラッシュアップすべき点などを発表いただく予定です。

またパネルディスカッションでは「もっとこんな使い方ができるのでは」など、先生たちが感じた「もっと」を引き出しながら、今後1年間kintoneを使ってどんな業務改善ができるかを意見交換していきます。

今回の発表で得られた現場の意見を反映しながら、教職員だけではなく、子どもたちのプログラミング教育や保護者・地域との連携をより加速させてまいりたいと思います。

今年度の取り組み報告＜概要＞



株式会社ジョイゾー取締役COO
(一般社団法人学校地域協働センター
ラポールくしろ理事)
四 宮 琴 絵

□取り組みについての概要

＜目的＞

- ・ 地域が一体となった新しい地域学校協働活動チームの形成
- ・ 持続可能な校務の新しいモデルの構築および結果の普及

＜実証校＞

釧路市立鳥取西中学校、釧路市立鳥取西小学校

弟子屈町立川湯中学校、弟子屈町立川湯小学校 計 4校

＜kintone運用方法＞

- ・ あらかじめ3つのアプリを用意
(月別行事予定、お知らせ、ファイル管理)
- ・ 導入後は各校で必要に応じてアプリを作成
- ・ ポータルレイアウトも自由に変更可能
- ・ 各学校に担当者を配置。サポートは担当者を通して株式会社ジョイゾーが担当



＜運用スケジュール＞

2019年4月

- ・サイボウズとラポールくしろによる説明会を開催

川湯地区：小学校の全教職員および中学校の数名の教員が参加

釧路地区：職員数が多いため、担当者のみが参加。
その後学校にてレクチャーを実施。

2019年5～6月

- ・各学校で運用開始

2019年8月

- ・中間報告会開催

教職員の意識調査や業務改善の担い手となるかなどを情報共有。

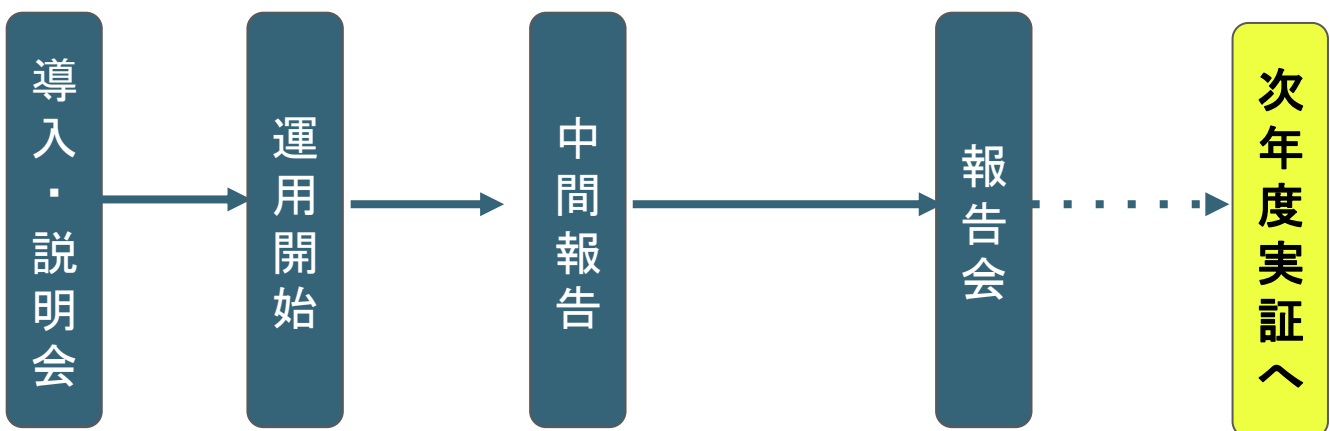
新たなアプリの開発や利用の仕方などについて実証を重ねる。

2019年
4月

5～6月

8月

3月



実証校の活用事例発表①

弟子屈町立川湯中学校

教頭 下野 将義



＜学校概要＞

1947年6月設立。全校生徒13名、教職員11名（2019年4月時点）。

「川湯の子供を育てる」をコンセプトに、川湯小学校とともに「川湯地区コミュニティ・スクール」を実施。

□概要

・ 連絡と記録の保存に重点を置いて活用

お知らせアプリ・ファイル管理アプリ～情報にたどり着くまでが重要

・ 記録を見返すときや、リアルタイムで情報確認できるという点で kintone導入の効果を実感

TOP画面

The screenshot shows the Kintone application interface. At the top, there's a header with a red notification icon and the text 'お知らせ' (Notice). Below this, there are three main sections: 'タイムカード' (Time Card) with a clock icon, 'ファイル管理' (File Management) with a folder icon, and 'お知らせ（掲示板）' (Notice Board) with a speech bubble icon. Below these sections, there's a table titled 'お知らせ連絡版書き込み: 掲示板' (Notice Board Posting: Notice Board) showing a list of notices. The table has columns for 'お知らせ日' (Notice Date), '内容' (Content), and '備考' (Remarks). The right sidebar contains a 'スペース' (Space) section with '参加中のスペース' (Spaces you are participating in) and a list of spaces including 'ラポールと川湯小学校' and '総務部'. Below that is an 'アプリ' (App) section with 'すべてのアプリ' (All apps) and a list of apps including '回覧文書', '事務より', '指導部', '教務部', '行事予定', 'ファイル管理', 'タイムカード', and 'お知らせ連絡版書き込み'.

お知らせ日	内容	備考
2020-03-19	卒業式写真について	うまく撮れてるかわかりませんが写...
2020-03-19	卒業式後の児童机移動のお願い	卒業式が終わった後、子ども達が自...
2020-03-18	学校予算について	教育委員会より19日で原則予算をし...
2020-03-17	音楽室ピアノ移動のお願い	明日の卒業式前日準備前の朝の時間...
2020-03-17	教育過程編成届けの作業について	先生方の机上に、今年度中にできる...

日々の連絡用ツールの集約場として活用 積み重ねで過去の情報もすぐ確認

お知らせ掲示板書き込み

全教員への連絡事項を一元管理。TOPページの「お知らせ」の中に組み込まれており、ファーストビューで確認できるように工夫。

お知らせ日	内容	備考
2020-03-19	卒業式写真について	うまく撮れてるかわかりませんが写...
2020-03-19	卒業後の児童机移動のお願い	卒業式が終わった後、子ども達が自...
2020-03-18	学校予算について	教育委員会より19日で原則予算をし...
2020-03-17	音楽室ピアノ移動のお願い	明日の卒業式当日準備前の朝の時間...
2020-03-17	教育過程編成届けの作業について	先生方の机の上に、今年度中にできる...

先生方の机の上に、

写真フォルダに入ってます

確認すべき保存先を記載することで、お知らせを起点に各情報を確認できるよう配慮。



学校の規模が小さいので、朝やその他の連絡の中で十分連絡は行き届くだろうと思っていましたが、記録の見返しやリアルタイムで情報確認できるところが、業務の上でとても役立っています。

実証校の活用事例発表②

釧路市立鳥取西中学校

主幹教諭 番匠 徹



＜学校概要＞

1983年4月に鳥取地区の住宅ラッシュにより大楽毛中学校の分離校として設立された。全校生徒528名（2019年4月時点）。1学年5～6クラス編成。釧路管内でも生徒数の多い学校に分類される。

□概要

- ・ より短時間で確認できるレイアウトに変更
月別行事予定（カレンダーPlus）、お知らせ掲示板アプリをファーストビューに
- ・ 授業の進捗管理のためのアプリを作成。次年度から活用予定
KANBAN(プラグイン) との連携
- ・ 忙しい教員には、目的の情報にたどり着くまでが一層重要に

TOP画面

今日の予定とお知らせ

月別行事予定: 今日の予定 1 - 1 (1件中)

日付	予定名
2020-03-20	春分の日

お知らせ連絡版書き込み: 掲示板 1 - 5 (532件中)

お知らせ日	内容	備考
2020-03-19	教室等の消毒計画	予め申し上げず、ご迷惑をおかけし...
2020-03-19	クリーニング関係	先日はカーテンとモップの回収のご...
2020-03-19	23日（月）13:00より部活動委員会...	ご多忙中とは思いますが、部活動委...

スペース

参加中のスペース

- 新型コロナウイルス関係
- 分散登校関係
- 卒業式関係
- 総務部
- 鳥取西中学校与ラポールくしろ
- 2 学年
- キャリア教育推進部
- 生徒指導部
- 1 学年

欲しい情報を瞬時に確認 忙しい先生に配慮したレイアウトに

今日の予定とお知らせ

月別行事予定: 今日の予定 0 - 0 (0件中)

日付	予定名
データがありません。	

お知らせ連絡版書き込み: 掲示板 1 - 5 (532件中)

お知らせ日	内容	備考
2020-03-19	教室等の消毒計画	予め申し上げず、ご迷惑をおかけし...
2020-03-19	クリーニング関係	先日はカーテンとモップの回収のご...
2020-03-19	23日(月) 13:00より部活動委員会...	ご多忙中とは思いますが、部活動委...
2020-03-19	現状における今後の対応 市教委	学年末・学年始休業、新学期にかか...
2020-03-18	校長からのお知らせ	1. 吉住先生〜青陵中での採用が決...

ファイル管理: ファイル一覧 1 - 5 (81件中)

タイトル	ファイル	作成者	作成日時
臨時...	臨時の対応策.xlsx	柴田尚文	2020-03-06 11:26
卒業...	20200305091853400.pdf	幸村 仁	2020-03-05 10:27
	ebaordアカウント(鳥西中) 0302.xlsx	雷匠微	2020-03-02 15:47
	ebaordアカウント(鳥西中) 0229.xlsx	幸村 仁	2020-03-02 13:54
文部...	202002229-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf	雷匠微	2020-03-02 12:32

【出欠席・その他連絡票】

出欠席・その他連絡票: 今日の出欠連絡 0 - 0 (0件中)

受付日時	所属	生徒名・連絡元	欠席・遅刻・その他	連絡対象者
データがありません。				

kintoneの質問などはこちらから

1/31 7:55 雷匠微

TOP画面

「朝の忙しい時間帯に、アイコンをワンクリックして情報を確認するのが大変」という学校の先生の要望を受けて、各アプリをアイコン表示から内容確認できるように変更。

その日に確認すべきことをすぐにチェックできるTOPページに。

来年度の活用も見越したアプリ設計 レイアウトはわかりやすさを重視

KANBAN (タスク管理)

アプリ: KANBAN (タスク管理)

ボード1 (すべてのレ...)

KANBANアプリ (作成中)

各教科の授業進捗報告のために使用する予定。先生にヒアリングしなくても、授業日数が一覧で確認できるよう、毎時間終わる度に更新する予定。来年度の活用を目指す。

その他今後の活用構想

<保護者・生徒の情報確認の自動化>

- ・ 出欠連絡、PTAの諸会議の出欠確認（保護者と生徒にIDを持ってもらう）
- ・ 学校評価のアンケート



本校は多忙な先生が多く、時間割によっては休み時間の10分間しか業務に当たれない方もいらっしゃいます。

そのため、目的の情報にすぐたどり着けるようなアプリが望まれてるように感じているので、今後は掲示板のような「分かりやすく、すぐに使えるアプリ」を考えていきたいです。

実証校の活用事例発表③

釧路市立鳥取西小学校

主幹教諭 石川 達明



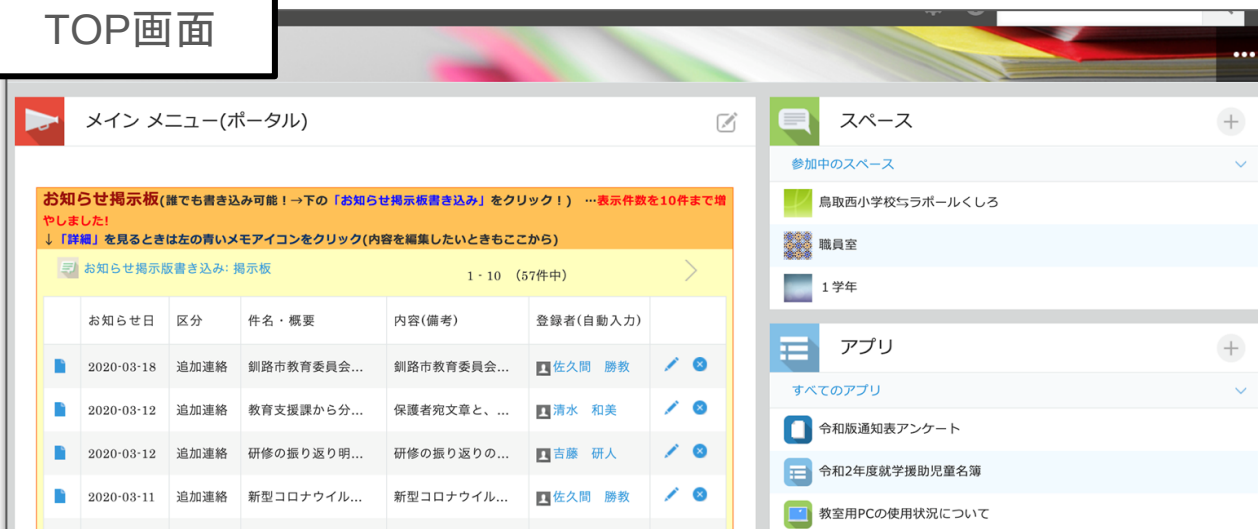
＜学校概要＞

1974年4月開校。全校生徒533名（2019年4月時点）、全23学級を有する。住宅街の中に立つ学校で、鳥取西中学校とも近い位置にある。

□概要

- ・ 出勤後、最初に確認する「お知らせ掲示板（今日の予定）」をトップに配置
利便性を重視
- ・ 月行事以外の授業を把握するため、学年毎に掲示板アプリを作成。
- ・ 授業のためのアンケート調査にもkintoneを活用
子どもたちがアンケートアプリをはじめから作成～プログラミング教育の実践
- ・ 情報にいち早くたどり着き、ファイルの一元管理が重要

TOP画面



TOPに「お知らせ掲示板」配置で 朝一番の「知りたい」をすぐに把握

先生方が知りたい「お知らせ掲示板」を
ファーストビューに掲示。

行事案内などを行うとベルのマークに印が
つくのでわかりやすさを感じている。

お知らせ掲示板(誰でも書き込み可能! →下の「お知らせ掲示板」をクリックして書き込みしてください)

お知らせ掲示板書き込み: 掲示板 1 / 10 (57件中)

お知らせ日	区分	件名・概要	内容(備考)	登録者(自動入力)
2020-03-18	追加連絡	釧路市教育委員会...	釧路市教育委員会...	1 佐久間 勝教
2020-03-12	追加連絡	教育支援課から分...	保護者宛文章と、...	1 清水 和美
2020-03-12	追加連絡	研修の振り返り明...	研修の振り返りの...	1 吉藤 研人
2020-03-11	追加連絡	新型コロナウイルス...	新型コロナウイルス...	1 佐久間 勝教
2020-03-10	追加連絡	卒業式(短縮版)...	卒業式の短縮版を...	1 佐久間 勝教
2020-03-10	追加連絡	第46回卒業式案...	メールで保護者に...	1 石川 達明
2020-03-10	追加連絡	卒業式会場設営に...	卒業式の式場回で...	1 中川 晃
2020-03-10	職員関連	人間ドック脳ドッ...	人間ドック、脳ド...	1 清水 和美
2020-03-10	追加連絡	道教委からの通知...	新聞報道にもあり...	1 佐久間 勝教
2020-03-06	追加連絡	分散登校改訂版です	改訂版をアップし...	1 佐久間 勝教

今日の予定 (月別行事予定KOYOMIより 表示のみ、修正は下の【メインアプリ】から)

KOYOMI (スケジュール管理): (この予定は表示のみ) 0 / 0 (0件中)

区分	件名	開始	終了	終日予定
データがありません。				

メインアプリ (知りたいカテゴリーのアイコンをクリック!)

学年別児童名簿	行事予定カレンダー (KOYOMI)	全校児童情報	ファイル管理
とりにしの子どもたち!	行事カレンダーplus	出席簿 ((例))	欠席その他連絡票

アプリ

すべてのアプリ

- 令和版通知表アンケート
- 令和2年度就学援助児童名簿
- 教室用PCの使用状況について
- 令和元年度学校評価(教職員学校評価)
- 令和元年度 12月 教職員アンケート
- 研修「特支」事後アンケート
- 欠席・その他連絡票
- とりにしの子どもたち!
- R1学級名簿
- 全校児童情報

さらに表示

行事カレンダーのうち、当日分だけをTOP
に表示することで、TOP内で当日の予定がす
べてわかるようにレイアウト。

児童名簿など学校にあ
る書類を一元管理でき
るようアプリを作成

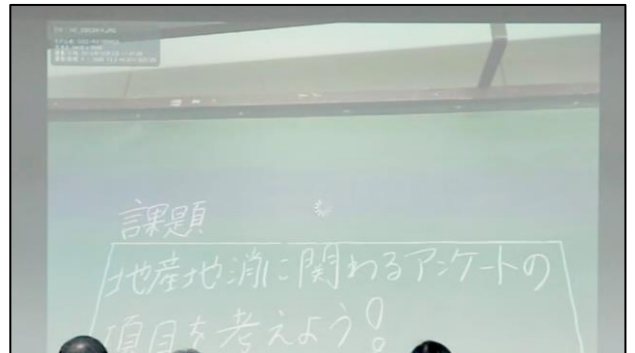
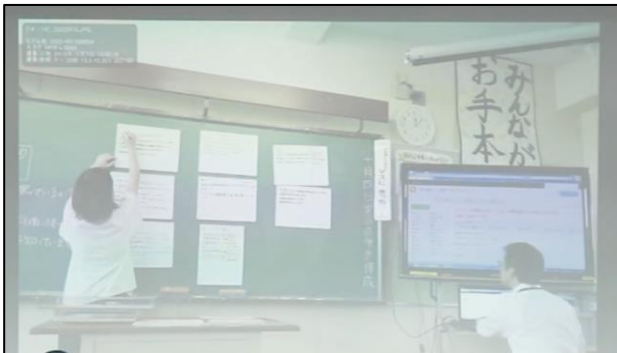
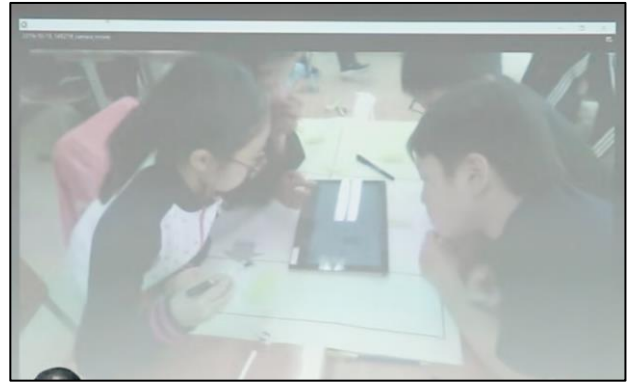
アンケートを授業に活用 子どもたち参加型の授業を実現

アンケートについては学校運営に関して先生方の意見を確認したい際に使用している他、授業にも取り入れている。

ある授業では生徒分のIDを取得し、5年生の授業で行った「釧路の食について」のアンケートの中で、保護者が釧路の食についてどれくらい知っているかを確認するために、生徒たちに「地産地消に関わるアンケートの項目を考えよう」という課題を提示した。

その回答を元にアンケート項目を作成、保護者にアンケートを行い、結果を元に子どもたちと釧路の食について考察する授業を行った。

（プログラミング教育指導教員養成塾の授業）



考察の際には子どもたちをいくつかのグループに分けてデバイスを触りながら結果を見ていきました。

積極的に色々触ってみてどんなものかを実感する子どももあり、あらためてデバイスへの柔軟性や興味の高さを感じました。

パネルディスカッション 「学校でこんな共有できたらいいな」



13 : 40～

【パネラー】下野、番匠、石川、幸村、佐藤萌音（株式会社サイボウズ）

【モデレーター】中村龍太（株式会社サイボウズ）

「見やすさ」「わかりやすさ」が重要に 東京の事例から新たなアイデアも



中村 龍太(なかむら りゅうた)

1964年広島県生まれ。1986年に日本電気入社。1997年マイクロソフトに転職。2013年、サイボウズとダンクソフトに同時に転職。2015年にはNKアグリの特許社員として就農。現在は、サイボウズ、NKアグリ、コラボワークスのポートフォリオワーカー。サイボウズでは学校の教育現場や虐待防止にも取り組む。



佐藤 萌音(さとう もね)

2019年サイボウズに入社。kintoneのプロモーションを担当。母もいとも教師という環境の中で、その忙しさを目の当たりにし、働き方の部分で仕事を諦めてほしくないと、東京では学校の先生方に向けたイベントを実施している。

「大変なのが当たり前」活用の難しさを実感 一方でメリットに感じる側面も

龍太：今回お使いいただいた感想はいかがでしたか？私はサイボウズの人間ですが、ITツールに頑張っ
て寄り添うこと自体が働き方に
負荷を掛けていないか違和感がある
自分がいて。ぜひ先生方もその
あたりを正直に共有していただければ。

石川：個人的にそういうのを触るのは
苦手ではなかったのですが、どの

くらいの可能性があるのか興味があり触ってみたいという気持ちはありました。

学校の現場はExcelがメインなので、その中でkintoneを簡単に乗り入れられたら良い
なと思っていましたが、自分の中では正直「きついな」という感想ですね。

できなくはないし、Excelからデータをコピーするだけだから楽なのではと思って
いましたが、今後の運用を考えていくと、kintoneや新しいアプリの作成にこだわらな
くてもいいのなかというのが、正直な印象です。

もちろんいいところもあって、例えば外にいても子供の情報がすぐに得られるのは
いいですね。あと、セキュリティも保持されている中で、外で児童を見つけて、保
護者に連絡したほうがいい時、児童の人数が多いので「あの子だれだっけ」と困るこ
とがあるんです。そんな時でも、すぐに携帯からでも見つけられるという良さはあり
ますよね、



全校児童情報									
アプリ: 全校児童情報									
児童名									
No.	年	組	番号	性	氏	名	氏かな	名かな	生年月日
10001	1	1	1	1					2012
10002	1	1	2	2					2012
10003	1	1	3	2					2012
10004	1	1	4	2					2012
10005	1	1	5	2					2013

鳥取西小学校で実際に使われている
全校児童情報アプリ

石川： でもその需要よりも大変さのほうが増すかな。本当はもうちょっと打ち合わせして進めていけばいいと思うんですが、個人的にはそれまでのものではないかな、もっと違う部分を大切にしていかなきゃいけないのかなと感じています。

もうちょっと、Excelからずっと簡単に乗り換えができれば、情報を得るためのツールとしては活用できたのかなと。



龍太： そういう認識をしていただいたのはうれしいですね。ITのツールってそれぞれ強み・弱みがあり、いろいろなツールを組み合わせる使うのが現状なので、だからこそ上手な鳥取西小学校の使い方が表現できているのかな、と個人的には思っています。

番匠： ただ児童名簿など、小学校で児童全員のデータベースを作っていらっしゃる。これが中学校に上がってくるので、上手くやり取りできたらいいんじゃないかと私は思っています。

龍太： 小学生が中学校に上がるということですよね。

番匠： そうです、うまくやりとりできれば。あと、毎回の中間・期末テストの後に、先生が点数を入力して評価して、最終的に指導要録っていう一年間の学習の様子を伝えるデータになる。それがkintoneでうまくできればと思うんです。

毎年のことなので、そういうセットができていれば、先生方も楽になると思います。それをkintone使って簡単に入力できれば良いと思います。



「当たり前」からの新しい発想の難しさを痛感

龍太： では番匠さんが運用されてみて辛かったと感じたことは？

番匠： 意識のところなんですけど、今まではkintoneがないことが当たり前の職場だったので、これでどんな工夫ができるのかって言われた時に、どんなアプリがあると便利かっていうアイデアが僕自身持てないっていう。これまで業務で辛いのが当たり前の生活だったので、どうすれば楽になるのかというアイデアが思い浮かばなくて。



龍太： つらい思いをしている自分は認識していらっしゃる？

番匠： そうなんです。でも頑張ってやってきて、それが当たり前だったので、それを楽にするアイデアが思いつかなかったなっていう。

龍太： 貴重な意見ですね。

作業軽減で増えた「子どもと向き合う時間」

龍太：川湯中学校ではいかがでしたか？

下野：本校では基本的な連絡と記録の確認に特化して使用しています。うちは小規模校ですが、時間的、タイミング的なところですれ違いの部分がある。それを補完するという意味で、kintoneで詳細を確認できることは役立っているところがあります。個別や口頭の連絡だと、どうしても時間を取られてしまう。



その分、kintoneを使って連絡することで、子どもと向き合う時間が増えたというのは成果として実感しているところです。あとは会議の後に、各先生と外部との間で内容が変更になったところはkintoneの中でリアルタイムに連絡調整することもできていますね。

とはいえ、クラウドとそうでない部分はバランス感覚を持って取り組んでいます。これまでデータは共有ファイルに保管していたのですが、kintoneに切り替えたところ、時々回線が切れてしまうことがありまして。どこに問題があるのかはわかりませんが、せっかくkintoneに情報を置いても回線が切れてしまうと仕事にならない。特に朝の一番見たいタイミングの時に切れてるので、他の教員から「仕事にならんべや」と文句が出たこともありました。

kintoneに移すことで、データが消失することはなくなったと思いますが、共有サーバーとkintoneの中での情報管理をどう考えたらいいのかなってというのは課題として持っているところです。

龍太：割と良いところばかり言ってもらっているような気がするんですが、より自然に使いたいところを使ってもらっているという印象を受けました。職員さんが使っただけないとか言った問題はありませんでしたか？

下野：最初のうちは使い方に慣れていなくて、「毎回ログインしないといけないのか」とか「パスワードを入れるのが面倒」とかいう声はありました。

でも使い始めてから半年、特に夏以降はパスワードなどを入力してから仕事に入ることに慣れ初めて、今では使い勝手が良いと感じられるようになりました。

便利なアプリは現場で流用

龍太：3校の皆さんに質問させてください。各校の活用事例は今回始めて耳にしましたか？それとも以前から知っていましたか？

石川：実は先程番匠先生から紹介があった児童の欠席記録アプリはもらいました。

龍太：流用しているということですか？

石川：そうです。いつだったか、たまたま番匠先生と話していて「それほしいな」と思って、こちらでも活用しています。他にも活用の部分で参考にさせてもらっているところはありますね。

鳥取西中学校の「出欠席・その他連絡票」アプリ

	レコード番号	対応職員	受付日時	問い合わせ種別	詳細	生徒名・連絡元	所属	相手	連絡対象者	欠席・遅刻・その
	153	龍勝之	2020-02-26 8:27	体調不良		カモタ コウシロウ	1年6組	母	河野直美	欠席
	152	龍勝之	2020-02-26 8:26	頭痛		ササキ アリサ	2年3組	母	田村碧生	欠席
	151	龍勝之	2020-02-26 8:24	その他		オムロ シュウゴ	3年4組	母	佐藤宏	欠席
	150	龍勝之	2020-02-22 8:24	その他	足…	高木 直大	1年5組	母	武田原輝	欠席

鳥取西小学校の「欠席・その他連絡票」アプリ

1 - 20 (86件中)														
レコード番号	対応職員	受付日時	連絡事項	児童氏	連絡元(家庭)	連絡先職員(通知します)	欠席・遅刻・その他	対応(必要なとき)	電話番号(折り返しの場合)	事由	組	学年(入力後取得ボタンから選択)	名	氏かな
96	工藤 一馬	2019-12-05 7:56	体調が…	竹川			遅刻			体調不良	2		1	星 たけ…
95	工藤 一馬	2019-11-27 7:58	せき	山口	母		欠席			発熱 その他	2		3	雄 やま…
94	工藤 一馬	2019-11-27 7:58		山口	母	市野 真貴子	欠席			発熱 嘔吐	1		3	は ほり…
93	工藤 一馬	2019-11-26 8:06		山口	母	市野 真貴子	欠席			風邪	1		3	は ほり…
92	工藤 一馬	2019-11-26 8:06												

鳥取西中学校から流用したアプリを小学校で使いやすいよう、項目の順序などを変更しながら使用している

ファーストビューで重要なのは 知りたい情報がノークリックでわかること

龍太：先程、番匠先生が「10分の休み時間の間に忙しい先生がアプリを見たい」って言ってましたが、もう少し詳しく教えていただけますか？

番匠：例えば「今日の委員会はどこであったっけ」となったときに、職員室に戻ってパッと見てわかるようなものでないと厳しいなと。「あの情報はどこにあるんだっけ」と探す時間がもったいないということで、ひと目で分かる画面がふさわしいなということでした。

龍太：それは小学校でも同じですか？もしそれを加味したうまい活用方法があれば。

石川：一番トップの画面を「今日の予定」にしたのはそれなんです。一番最初に今日お知らせしたかったことが日付順で出てくるのでいいかなと。ただそれも、タイトルが途中で隠れるなどちょっと見にくい部分があるので、表示の仕方で工夫できたらという思いがあります。

番匠：うちもやってはいるんですが、どれだけの先生がそこを見ていただけてるかわからないので、その点は不安ですね。あと例えば、期限が決まっているアンケートなどを置いておくような場所がないのも懸念しています。

鳥取西小学校のTOP画面

お知らせ日	区分	件名・概要	内容(備考)
2020-03-18	追加連絡	鳥路市教育委員会...	鳥路市教育委員会...
2020-03-12	追加連絡	教育支援課から分...	保護者宛文章と、...
2020-03-12	追加連絡	研修の振り返り明...	研修の振り返りの...

鳥取西中学校のTOP画面

お知らせ日	内容	備考
2020-03-19	教室等の消毒計画	予め申し上げず、ご迷惑をおかけし...
2020-03-19	クリーニング関係	先日はカーテンとモップの回収のご...
2020-03-19	23日(月) 13:00より部活動委員会...	ご多忙中とは思いますが、部活動委...

龍太: そういう意味では、ラポールくしろや我々が介在して、困ってることをお互い出し合って、同じだったら改善する場があると良いかなと思いますよね。

番匠: それで、もっと良いポータルがなくなないと（四宮さんに）お願いして作っていただいたものもあったんです。

龍太: 僕自身は「こういうふうに使いたい」と思えること自体が素敵で、それ自体を肯定していいと思っています。「これでいいですよ」って思っていると成長はありませんから。



ただ、業界外から見ると、10分の休み時間の間にチェックできないほど忙しすぎるという運用自体に問題がありそうですけどね。学校では当たり前の話かもしれませんが、それってつらいと思います。お話を聞いて、今回はたまたまそういう日がある、という理解をしましたが、そもそも論としてそこがどうにかならないのかなと。

しかし、それをITで無理やり改善しようとするするとIT側に犠牲が出て、さらにできないのでIT側のせいになれるという。よくある話なんですけどね。そういうことも含めて解決する手段が少しずつでもできればいいと思いました。

幸村: 今回のkintone導入は、ラポールで私が使ってみて「これって学校でも使えるかな」と思ったところから始まってますよね。学校ってExcel感覚で動いてるところがあったので、ExcelじゃないけどExcelを使っている感覚で作れるなと思って。



これが学校に合うのかという不安はありましたが、現状、学校ごとに使っているシステムが違って、先生たちは異動で学校が変わる度にファイルがどこにあるのか探すところから始めないといけない状況です。さらにサーバーに得意な先生がいれば運用できるが、その人がいなくなるとさっぱり、ということが各学校で起きています。

だからこそ、どの学校に行っても同じ感覚で使える校務支援ツールがあれば、それが先生にとっては一番ストレスがない。

道教育委員会が進めている校務支援システムというものもありますが、せっかく良いものなのにカスタマイズ出来なくて使いにくい、さらに金額も高いので導入できないという話をよく聞きます。

また、教員の資質として、自分流に変えたいというある意味前向きなところがあるんですね。だから使いづらいつてなってしまうと使わなくなるんですよ。

とはいえ、今kintoneを学校で使ってもらっていますが、今の画面では先生方はなかなか受け入れられないと思います。

では、こうしたサービスに先生方が何を求めているか。

教員は出勤したら黒板や、ホワイトボードに書かれている今日の予定を確認するところから一日が始まるんです。

その点を踏まえて、学校の先生が使いやすいように変えていかなきゃいけないという思いがあります。また、今必要な情報共有は何なのか、あるいは、現状の困り感がどうやったら解決できるのかを現場の先生方とともに作っていく必要があると思います。

そして、すべての困り感をkintoneで解決しようとするとう無理が生じてしまうので、可能であるならば、校務支援システムと並行して使えるような環境になると良いですね。



実証校の結果と帳票出力が導入のカギに

龍太：今回kintoneを3校で導入してみて無理矢理感はなかったですか？

幸村：実証校の皆さんには苦勞をかけていますが、今回は具体的な説明をしないでとりあえず使ってもらっています。

今後活用できるかどうかは、今回の結果を受けて学校の中でどうやって使っていけるか、そして帳票関係をアウトプットできるかが重要だと思います。

活用という意味では、現状、学校では担当の先生方にアプリ作成と活用をメインに行ってもらっていて、スペースなど他の先生との情報共有やコミュニケーションの部分はあまり活用されていないのが実態です。この実証の中で、他の先生がそのあたりの機能を使っているのは見たことがありません。

帳票関係に関しては、サイボウズさんだけではなくて、他の業者さんも引き入れて行くことで、指導要録や通知表などの印刷などができるようになっていくと思いますが、それが予算内で今後できるのかなってところで、今後学校でkintoneが使えるかどうかはわかってくると思います。

龍太：今の話は学校の実情を分かっている、的を得たお声だと思います。今回kintoneで重視されていたのは、学校の職員室のホワイトボードや予定表の役割だと思うんですが、それをどこまで一緒にすれば良いのかというのは一つ課題としてある

と思います。ピタッと同じにすることはできますが、そのために全体の開発の8割もコストを掛けられるのか。仮に掛けたとして柔軟性がなくなるので、後で変えようと思った時に変えづらくなってしまいます。

両者が調和するものを作っていくのがITのポイントなので、それを一緒に考えようとしている釧路のプロジェクトは素敵だなと思います。



グループワーク「どんな情報を共有すべき？」

今回はパネルディスカッションの合間に、傍聴されている参加者も含めて「学校でこんな情報共有できたらいいな」を考えるグループワークも行われました。

＜グループワーク概要＞

出席者全員を2グループに分けて実施。

1. 実証校の担当教員3名、佐藤
2. その他の参加教員、釧路市議会議員、龍太、幸村、四宮



グループ1の意見：情報共有の「理想」と「現実」

理想

校務ツールだけでなく保護者・家庭との情報共有ツールとして活用。

（保護者会などの案内、欠席連絡など）

知りたい情報が瞬時にわかる構成

（ファーストビューにすぐに見たい情報を集約）

ポータルが2つ表示されるようカスタマイズしてみては？

（短期的内容と中長期的内容）

現実

保護者がわざわざ確認するのか

→ 既読状況の確認が必要

教員への周知という点で付箋を上回るツールになっていない

（情報にたどり着くまでに何度もクリックする必要がある、確認すべき情報が溜まるとチェックが面倒）



グループ2の意見：パネルディスカッションを受けて 「共有したい」と思った情報

「今日の予定」は 絶対に必要な情報

毎日各先生からの情報をワープロで取りまとめ、紙で配っているという意見も。その情報がkintoneでわかるようになった。

家庭と学校の間でやり取りすべき情報

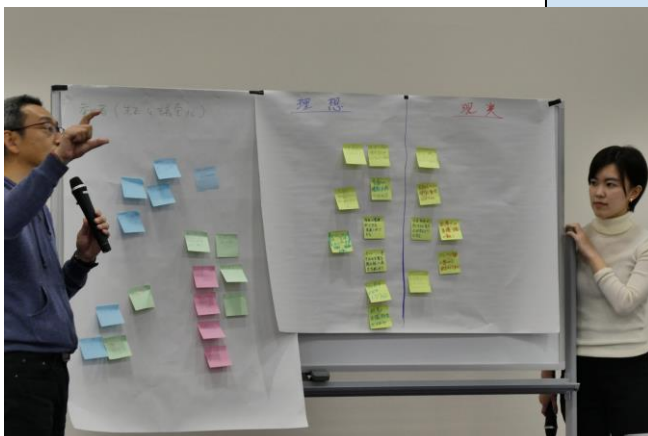
- ・ 出欠・遅刻情報、下校時間の変更、学級閉鎖の情報、
学校日より、時間割
- ・ 緊急性の高い情報（新型コロナウイルスの際に生徒の体温を保護者に入力してもらい集約するなど）
- ・ 部活動の連絡（連絡事項・活動内容・トレーニング内容など）

地域で共有すべき情報

- ・ 地域の小中それぞれの行事、各校の資材や文房具の状況
(必要に応じて融通するため)
- ・ 防災情報

学校運営上必要な情報

- ・ いじめの情報
- ・ 学校の備品、図書、PTA会費の運用、学級経営の情報
- ・ キャリア教育の職業体験の受け入れ
先企業情報



東京のサイボウズオフィスでの活動報告 「学校でこんな情報共有できたらいいな」



株式会社サイボウズ 佐藤 萌音

□要点

- ・ kintoneは「自由自在に作れる」側面がありつつ、「最初は空っぽの箱」という難しさもあり、両方と向き合っていく必要がある。

<イベント実施概要>

- ・ 参加者：先生15名、学校に関心のあるサイボウズ社員
- ・ 目的：「本当はこういう情報共有したいな」の言語化および kintoneを使った理想形のツール作成
- ・ 進行：課題抽出→「先生同士」「先生と保護者」「先生と生徒」の間で、それぞれ「あったらいいな」という理想形をアプリまで落とし込む
- ・ 所要時間：4時間（ワークショップのみ）

当日は小中高の先生15人が参加し、4時間に及ぶワークショップとなりました。その様子と作成したアプリ、kintone活用に当たり知っておくべき側面などについて報告します。

この日来ていただいた先生は、「本当はこういう情報共有したいな」という課題感や理想感を持つ若手の方々です。

自分の立場では現場の立場を変えられない、くすぶりのようなものを感じている方や、やりたいけれど忙しくて新しいツールに手を出せないという先生方もいらっしゃいました。

参加者は所属する学校が違うという方がほとんどだったので、当日はそれぞれ現場でどんな情報共有の課題があるか、その共通項を見つけ出し、

逆に課題に対する理想はどんな状態なのか、それを達成するためには何が必要なのかという流れでブレイクダウンしていきました。

その中でどんなアプリができたのかを、グループごとにご紹介していきます。



「先生同士のあったらいいな」チーム

課題

- ・ 資料の途中経過がわからない
- ・ 同じ資料を何人もの先生が持っており、誰がどれを持っているかわからない（資料共有のフォルダを作りたい）
- ・ 年によって変更が必要なデータの変更履歴や変更理由を知りたい

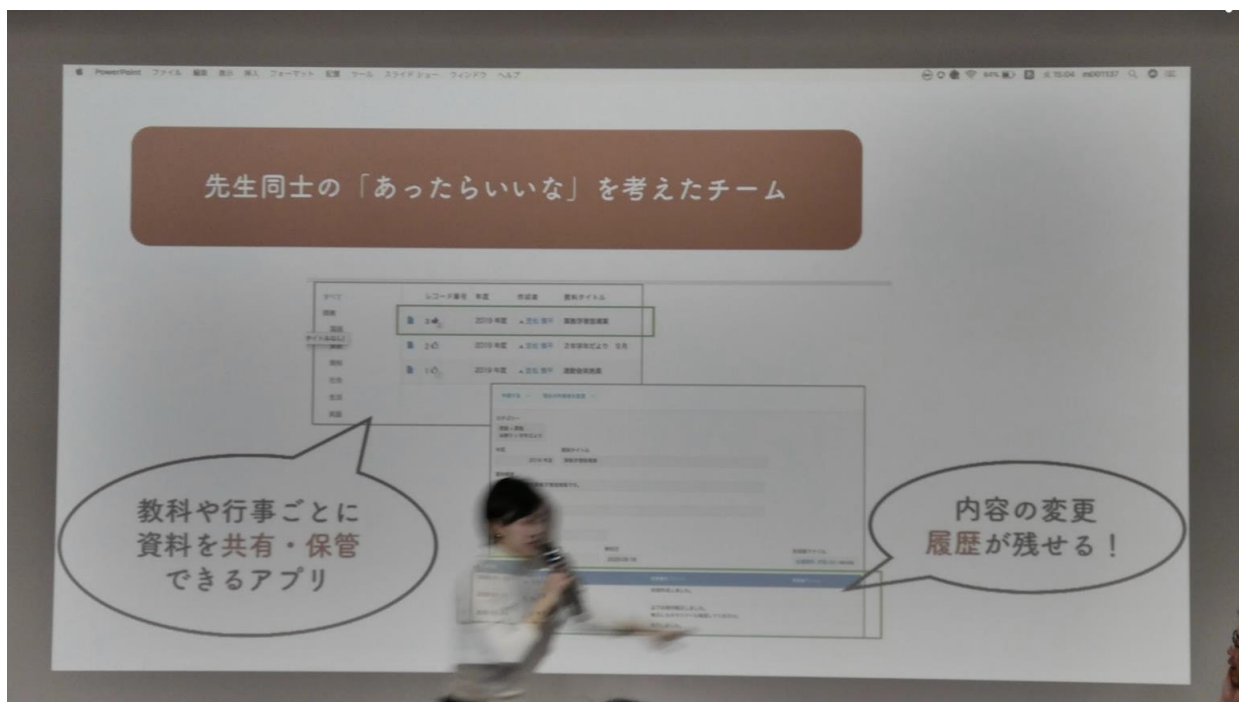


経過のわかる共有フォルダがほしい

作成した理想のアプリ

教科や資料ごとに資料を保管できるアプリ

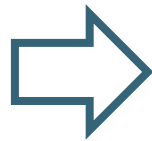
- ・ 内容に合わせてフォルダをジャンル分けできる
- ・ 変更履歴が残せる



「保護者とのあったらいいな」チーム

課題

- ・ 電話でのコミュニケーションだと業務中に受けられない
- ・ タイミングが合わない则相手の話を直接聞くことができない

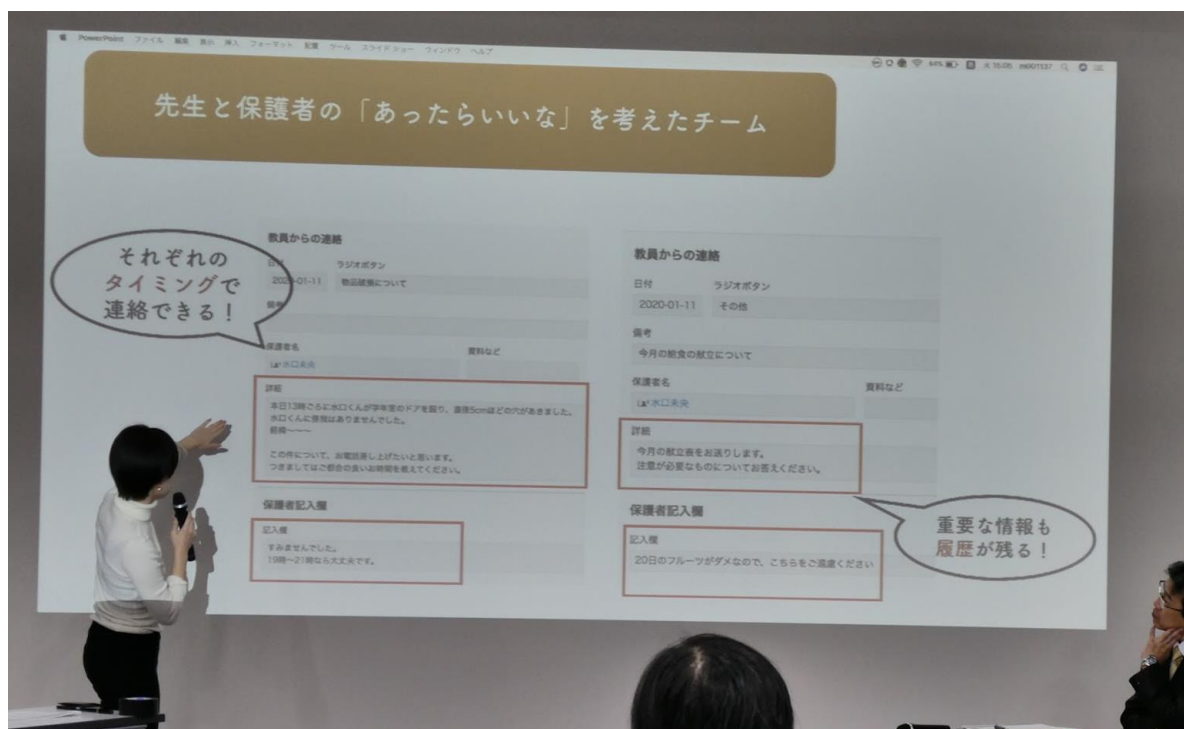


コミュニケーションの限界

作成した理想のアプリ

データを蓄積できる連絡帳アプリ

- ・ 情報のジャンル・保護者名・連絡の詳細を保護者が入力
- ・ 先生・保護者どちらも自分のタイミングで連絡できる
- ・ 連絡の履歴が残る
- ・ 情報を蓄積できる



「生徒とのあったらいいな」チーム

課題

- ・ ツールが乱立している
- ・ 情報が一本化されていない

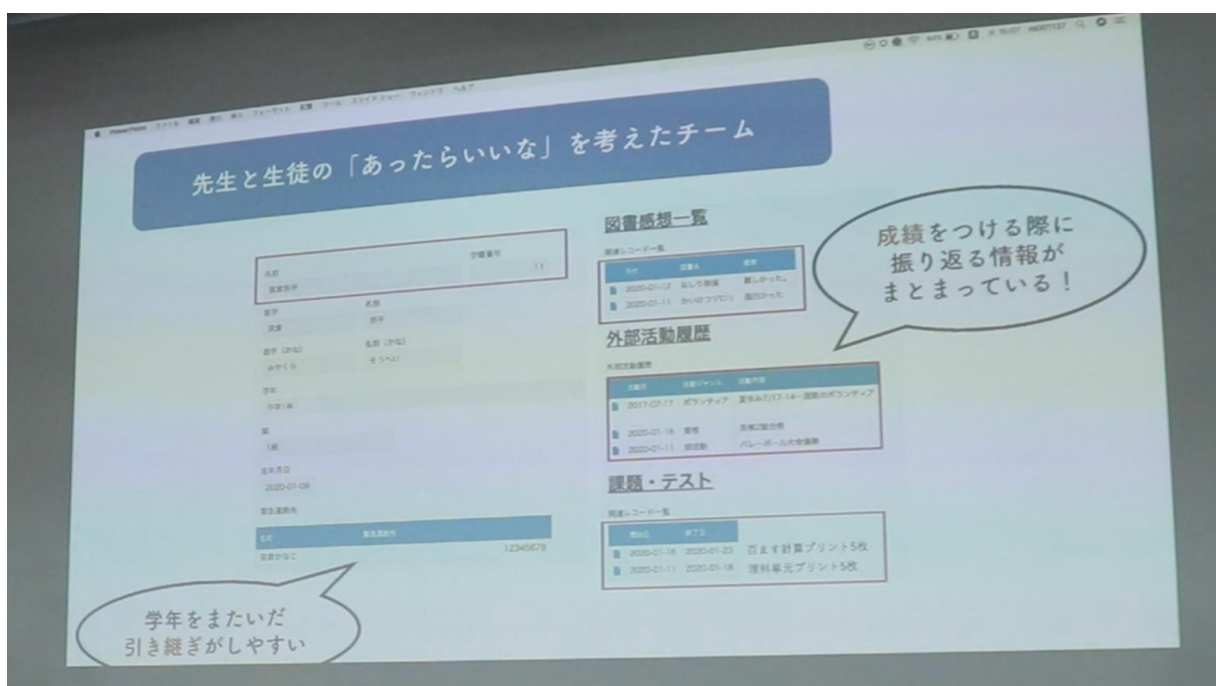


情報の一本化

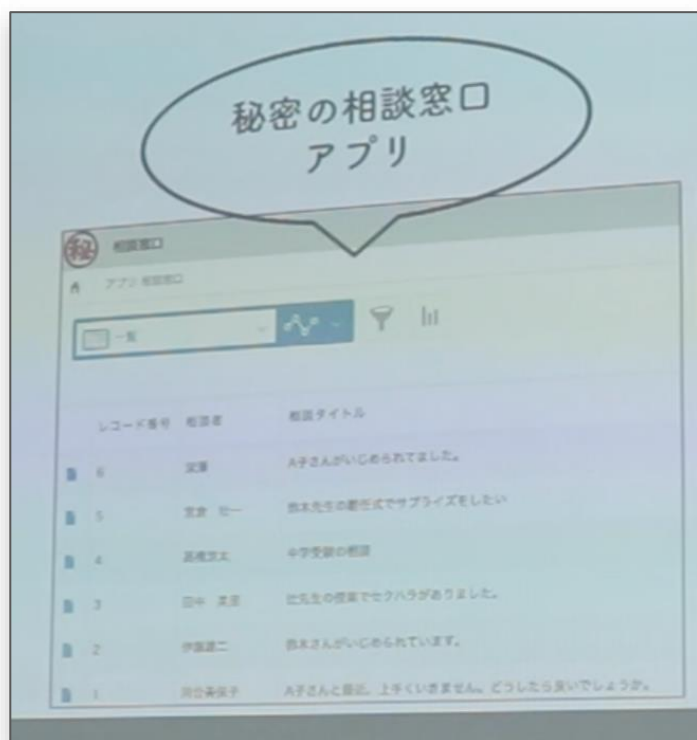
作成した理想のアプリ

個人に紐付いたデータベースアプリ

- ・ 名前・学年・組・保護者情報・図書館で借りた本・外部の活動履歴・テストの履歴などあらゆる情報を一元管理
- ・ 進級後の引き継ぎがスムーズになる
- ・ 成績をつける際の振り返りがしやすい



番外編：サイボウズ社員作成アプリ



秘密の相談窓口アプリ

<ジャンル>

生徒とのあったらいいな

<課題>

- ・担任以外の特定の先生に相談したい
- ・口頭では話しにくい

<アプリの特徴>

- ・特定の先生にのみ通知できる
- ・オンラインで相談できる

通知表作成アプリ

<ジャンル>

先生間のあったらいいな

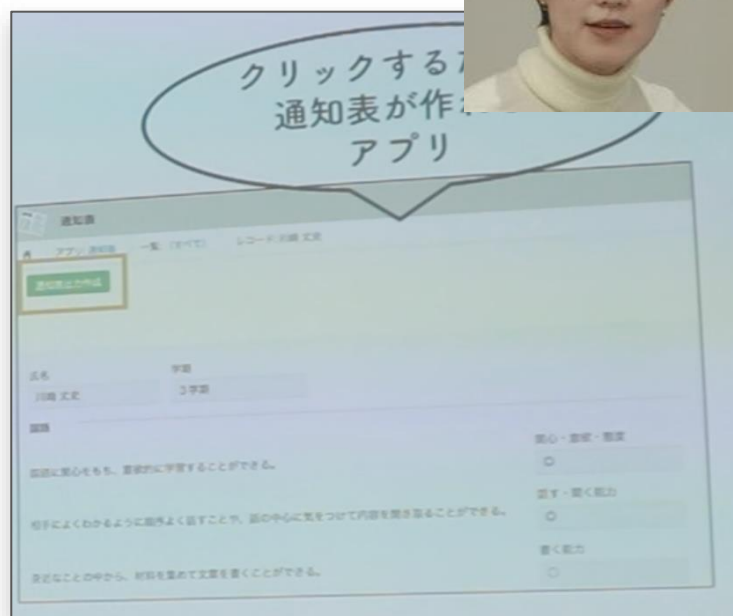
<課題>

- ・通知表の作成が大変
- ・入力したデータを出力したい

<アプリの特徴>

- ・kintoneのプラグインを使用し、馴染みのある通知表に印刷

会場が大きな歓声で湧いたアプリです！



来年度に向けた実証校の思い



予算がつかず来年の見通しは不明 慣れてきたただけに残念

(弟子屈町立川湯中学校)

来年度は導入に向けて予算をつけてもらえず、見通し経っていないというのが弟子屈町の現状です。

この一年間の実験でkintoneのシステムに色々助けられ、便利だな、慣れてきたなと思うからこそ、使い続けられないというのは追い詰められている状況ですし、残念でなりません。

来年度以降どうするのかは検討しているところです。ただ、もし来年度使えることになったとしても、期待以上のことを提供できるかという点についても考えていかなければならないと思っています。



継続利用による情報の積み重ねや 先生からの声による可能性に期待

(釧路市立鳥取西中学校)

僕の考えとしては「まだ一年しかやっていない」という感覚でいます。

文書の蓄積もまだまだで、これからたくさんkintoneの中に蓄積していけば、空っぽだったものが充実していきますし、アプリも先生から「こういうアプリが良いよね」というのが出てくるようになれば、さらに使いやすいツールになっていくと思っています。

なにより作りかけのアプリもあるので、それをなんとかしたい。来年使えるのであれば使わせていただきたいと思います。



長期的な利用が kintoneのさらなる可能性を引き出す

(釧路市立鳥取西小学校)

実は、すでにうちは来年も使うということで話を進めています。もし「実はもう使えないんです」となってしまうと、この先どうするのという話になるので、長期的に使うことを前提にして進めていきたいですし、使わないのであれば、見直しを持って次を考えて行く必要があります。

kintoneの可能性は、まだまだ広がると思っています。アプリ作成はもちろん、情報共有できる人たちも、今は先生だけですが、保護者などに広げていければ、できることの幅はもっと広がるはずです。

そのほうがkintoneの本質的な部分に近づけるのかなと思うので、ぜひとも使わせていただきたいと思いますし、大きな期待も持っています。

価格も価値も一緒に育んでいきたい

(サイボウズ 中村龍太)



サイボウズという立場として、一年くらいでは成果が出ないという認識は同じで、メーカー側としても引き続き一緒にやりたいと思っています。

ただ、利用する皆さんが「やっぱりつらいよ」と聞くのがメーカー側も一番つらい。だからこそ、今日一旦情報をお聞きしました。

予算の話がありましたけど、私達の思いとしては、どんな価値があるのかというのと一緒に育んでいきたいと思っています。

(道の作った)校務支援システムがこれくらいの値段という中で、皆さんにはkintoneを使っていただきながら「これくらいの価値があるものだ」「これくらいの費用は払っても良い」と感じてもらいつつ、皆さんと育んでいきたいというのが本音です。

もちろんそれを払うのは教育委員会になりますが、私達は日本のメーカーであり、日本の法人の中でそれらを決められる権限と責任があるメーカーですから、成果物として値段という価格も皆さんと育んでいきたい。

もちろんそれが0円というわけには行きませんが、丁度いい調和のある部分を、来年も一緒に育みながら、安心して一緒に作っていききたいなと思っています。

次年度実証に向けた提案および 実証事業校の募集について



15 : 20～ ラポールくしろ 幸村・四宮

今年度の経験と反省を生かし 令和3年度導入に向けた実証実験を提案

□概要

- ・ 校務支援システム導入が絶対となる中で、どのシステムを選ぶのが重要
- ・ より先生たちが使いやすいポータル画面に一新
アプリも学校業務に沿ったものを提供
- ・ 日々のサポート体制に加え、2ヶ月に一度は連携推進会議を行い、
情報共有やアプリ開発支援を強化
- ・ kintoneと外部システムとの連携方法についても支援
- ・ 現在実証校数は4校だが、今後は広く受付け増やしていく方針

次年度実証に関する5つのポイント

- ① 令和2年度も実証実験を継続します
- ② ポータル画面を改良します
- ③ 学校用アプリを提供します
- ④ 連携推進会議を設置します
- ⑤ 児童生徒、保護者、学校間の連携を図ります

1. 令和2年度も実証実験を継続

現在、実験校は4校ですが、広く募集したいと思っています。

校務支援システムを導入するのが必須となる中で、現在導入が進まないのは、予算の問題が大きいと思います。より安価で使いやすい校務支援ツールを提供していきます。

ただ釧路管内に関しては、先生の手数は釧路市が多いので、釧路市が何を導入するかによって、管内全体の動きが変わってくると考えられます。

さらに、導入校が多ければ多いほど、安く入れられるというメリットも考えられると思いますので、ぜひ釧路市の実証校をより多く募りたいと思っています。

2.ポータル画面を改良

令和元年度の実証校の話を参考に、株式会社ジョイゾーに依頼し、実験的にポータル画面を改良しました。ポイントは4つあります。



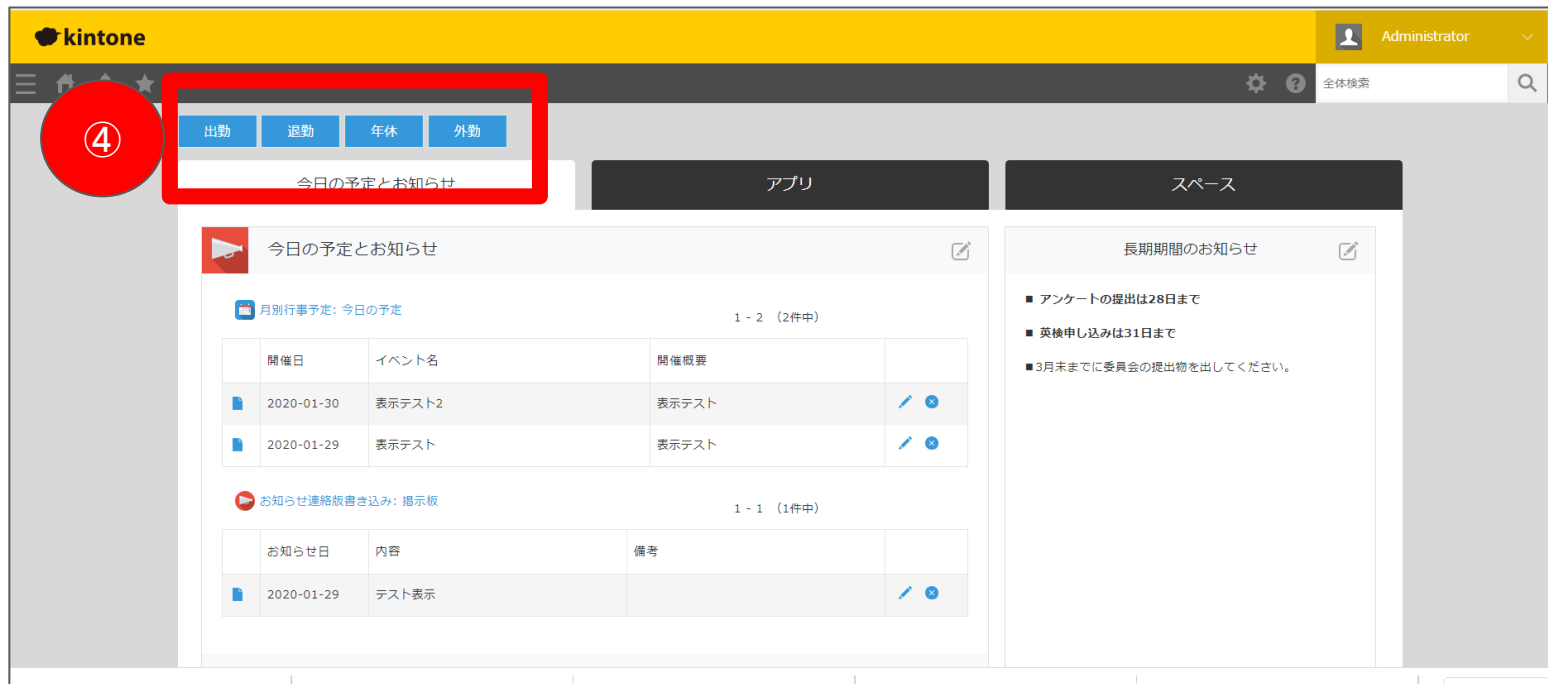
①機能ごとにタブを用意

一画面でできるだけ多くの情報を取り入れるために、「今日の予定とお知らせ」「アプリ」「スペース」の3つのタブで構成しました。

最初に重要度の高い「今日の予定とお知らせ」が見えるようにし、左側に「今日の予定」、右側に「長期的なお知らせ」をレイアウトし、予定を直接書き込めるようにしています。もちろんレイアウトは各校で変更可能です。

「長期的なお知らせ」には一週間後の予定や、いつまでに何を提出してくださいといった情報の掲載を想定しています。

2.ポータル画面を改良



②アプリ画面

作成したアプリは「アプリ」のタブに順次追加されていきます。

③スペース画面

今回の実証校では活用されていませんでしたが、先生方のコミュニケーションツールとして使えるようにしていければいろんなコメントをやり取りしたりすることができます。

④出退勤ボタンの設置

出勤・退勤ボタンを配置し、データを自動で蓄積。先生方が出勤してまずパソコンを開いて出勤ボタンを押す、情報を見る、帰りに退勤ボタンを押して帰るという流れを作りたいと思っています。

3. 学校用アプリの提供

どの学校でも日常的に使えるアプリをデフォルトで提供します。

＜提供予定アプリ＞

- ・ 年間カレンダーアプリ ・ お知らせ掲示板アプリ
- ・ 欠席者情報アプリ など

その後、学校ごとに自由にアプリを作っていくという形にしていきたいと思っています。

4. 連携推進会議（サポート会議）の設置



日常的なサポートの他に、学校で使っているものの情報共有や、話し合いの場の創出などを目的とした連携推進会議を2ヶ月に1回程度開催予定です。

その際にはサイボウズなどの担当者がその場で一緒にアプリを作っていくことも検討しています。

日常的なサポートについては、kintone上でジョイゾーやラポール、サイボウズさんと直接やり取りすることが可能になります。

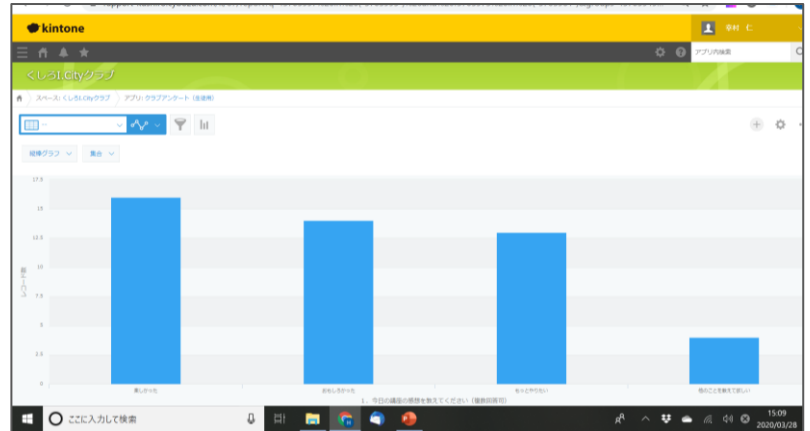
5.児童生徒・保護者・学校の連携を図る

学校評価や家庭環境調査など、これまで紙ベースでやっていたものを、保護者からWEB上で情報入力いただいて、kintoneで情報を集約する仕組みも検討しています。

保護者や児童生徒へのアカウントについては、kintoneと連携する外部の無料システムを利用することで、アカウントを増やさずに運用することも可能です。

授業でアンケートとして活用する場合も、先生方が集計することなくグラフを作ることができます。保護者へのアンケートも同様の方法で対応可能です。

また回答をクリックすると、理由など中身もすぐに集約してみることができます。会議や学年の中で活用したい時にkintoneを外部の情報をデータとして連携することができます。

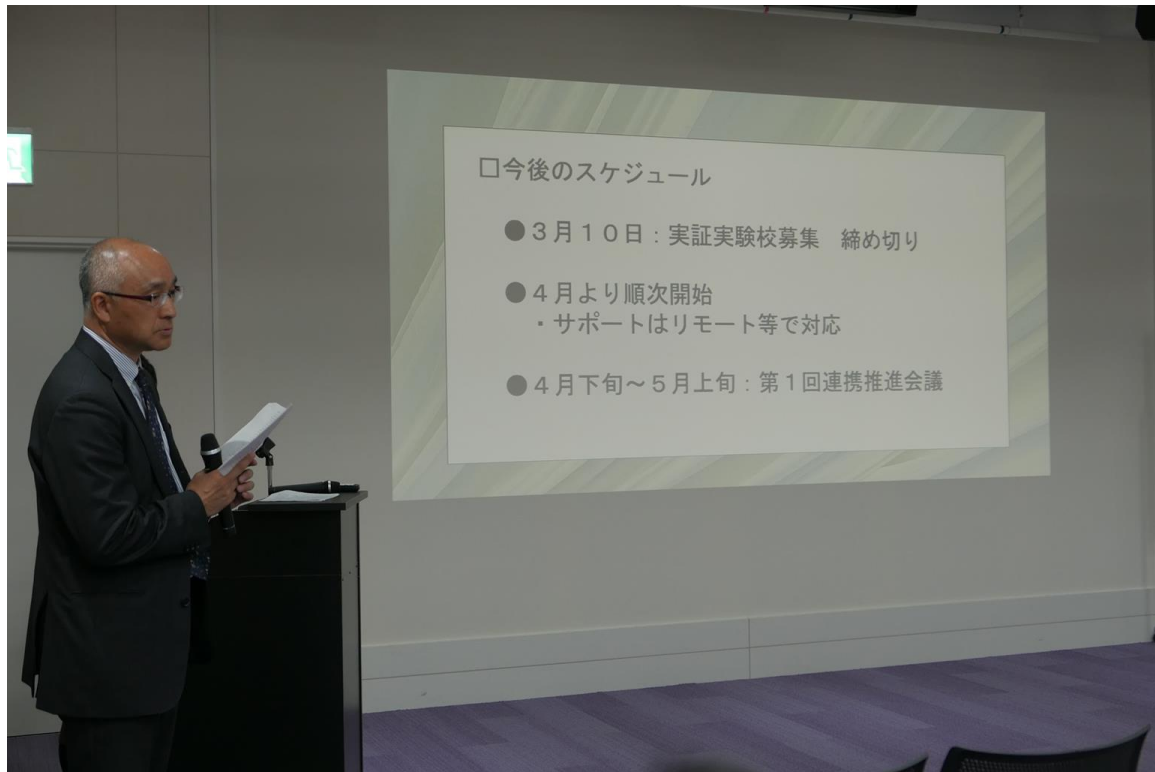


日付	開催名	学年	今日の講座の感想	1. 楽しかった理由があれば教えてね！	2. 今日の内容	3. この講座でやりたいことがあれば教えてね！	4. この講座でやりたいことがあれば教えてね！
2019-09-24	第2回学校クラブ	小6	もっとやりたい	ない	簡単だった	いろんなプログラミングをやりたいです	
2019-09-24	第2回学校クラブ	小5	楽しかったおももしろかったもっとやりたい	少し難しかった。けどアプリをつくらせて楽しかった...	楽しかった	上と同じ	
2019-09-24	第2回学校クラブ	小5	楽しかったおももしろかったもっとやりたい	少し難しかったけど自分でアプリを作れて楽しかった...	楽しかった	いろんなプログラミングをやりたいです！	
2019-09-24	第2回学校クラブ	小5	楽しかったおももしろかったもっとやりたい	自分で好きなアプリを作れたから	簡単だった	何かを分ける結果を作りたい	

活用としては通常の校務支援システムと競合するものではなく、より外に向けた活用もでき、学校と学校外との情報共有として使っていけるという提案をさせていただきます。

そうすると、職場体験等の企業とのやり取りなども、企業情報をデータベース化しながら進めていけると思います。

次年度実証に関する概要について



今後のスケジュール

3/10：実証実験校の募集締め切り

4月：順次開始

手続きの関係がありますので一斉に開始するのは難しいと考えています。

また4月は学校も忙しいので、順次使っていきながら、できれば4月中に第1回の連携推進会議を行って実証校の代表の先生方に集ってもらい、「kintoneとは何か」や、「どう使うか」から進めていきたいと考えています。

7月：利用料金を含めた提示（令和3年度の予算を見越して）

実証及び成果報告会を振り返って

この実証の報告会と時を同じにして、新型コロナウイルス感染症の拡大が叫ばれ、その後、北海道内では「緊急事態宣言」が発令され道内の学校は臨時休校を余儀なくされました。そこで露呈されたのが、ICT（情報通信技術）の活用がすでに構築されている地域（学校）とそうでない地域との温度差でありました。

前者は、テレビ会議的に遠隔授業を行ったり、動画を配信したりと児童生徒とのコミュニケーションを図りながら学習機会を提供していました。後者は、何の手立てもなく、分散登校時にプリントを配布するのが関の山という状況でした。

また、この状況に合わせ教職員の服務についての改正があり、「災害事故休暇」の承認と合わせて、条件付きながら「在宅勤務」も認められるようになりました。しかしながら、その在宅勤務においては、個人情報の持ち出しもあり、セキュリティ上の課題も改めて浮き彫りになりました。

このような状況からも、学校現場におけるICTの推進は喫緊の課題であり、クラウドを介した本実証の業務改善ツールの普及は、今すぐにでも本格導入されるべきものと確信を得るものとなりました。

成果報告会でも説明したように、今年度の実証は「とにかく使ってもらおう」というコンセプトで、教職員の機動性や創造性、学校業務におけるkintoneの活用性を見極めるものでした。

結果としては、これまでのコンピュータ等に関する活用と同様に、ICTに興味関心の高い教職員の存在が、kintoneの持つ機能を学校現場に活かしていくことにつながるということです。

であるならば、当法人としての今後のやるべきことは、ICTに興味関心を持つ教職員の育成であります。とりわけ「kintone×学校」を日常化し、クラウドベースの情報処理・情報管理がこれからの「当たり前」とすることだろうと考えます。

実証及び成果報告会を振り返って

教職員のスクールワークの中に、この「当たり前」が浸透した時には、学校内はもとより、「教職員×児童生徒」「教職員×保護者」「学校×学校」「学校×行政」そして「学校×地域」が見えてきます。

令和2年度からの更なる実証実験においては、ICTに精通する教職員の育成のため、連携推進会議において、教職員の資質の向上や情報交流、そしてkintoneの持つ奥深さを知ってもらうことを主眼に進めていきたいと考えます。

また、導入に関しては教育委員会をはじめとした行政の理解なくしてはあり得ません。単なる働き方改革の一環としての導入ではなく、この度の新型コロナウイルス感染症の危機的状況で見えてきた喫緊の課題も併せ、学校におけるICT環境や機器の整備、それらを扱う教職員の育成、保護者・地域とのクラウド環境下による情報共有の重要性を再認識し、「チーム釧路」としての取組を期待していきたいと思います。

そしてその行く先に、「チームワークあふれる地域創生」が見えてくるものと確信します。

令和2年3月

一般社団法人

学校地域協働センターラポールくしろ

代表理事 幸 村 仁

一般社団法人学校地域協働センターラポールくしろ